

ジュニア新演習

国語 小3上

もくじ

第1回	春のお客さん／擬声語	4
第2回	ものの見方と考え方／擬態語	
第3回	くうじをややべる電気／「そあび」言葉(1)	20
第4回	かえるのエルタ／「そあび」言葉(2)	12
第5回	ドンマイー(1)／慣用句(1)	36
第6回	ドンマイー(2)／慣用句(2)	44
第7回	さよなら ドぬとおばけ／漢字の音と訓	52
第8回	鈴とコノのひみつレンジャー／送りがな	60
第9回	仕事とくうじ／つなぎ言葉(1)	68
第10回	植物を育てる／つなぎ言葉(2)	76
第11回	一つの花／「とわざ」(1)	84
第12回	のんきな父さん 箱の中／「とわざ」(2)	92
第13回	水はどりから／漢字のでき方	100
第14回	こん虫のすがた／漢字の組み立て(1)	108
第15回	ネコのお年玉／漢字の組み立て(2)	116
第16回	くもの糸／同じ漢字を持つ熟語	124
第17回	野菜と果物／ひらがな言葉	132
第18回	お米は生きている／かたかなで書く言葉	140
第19回	言葉のきまり(1) 主語・述語・修飾語	148
第20回	作文の書き方／「まぞ」まな意味を表す言葉	156

本書の使い方

「読む基本」では、物語や説明文を読むときに役立つ視点を、継続して学習していくことで身につけていきます。

例
登場人物は何人いるか。だれが言つた言葉か。
など

例題

www.nature.com/scientificreports/

文章中から答えを見つけられる『分析・評価問題』と、
文章中からは見つけられないが読んで考えるとわかる
『推論問題』とが、思考のプロセスに沿って出題されて
います。

練習問題

次の文を書き換えてください。	練習
<p>著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。</p> <p>著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。</p>	<p>10 15 20 25 30 35 40</p> <p>5 10 15 20 25 30 35 40</p>

「練習問題」でも「例題」に引き続き、「分析・評価問題」と「推論問題」が思考のプロセスに沿って出題されています。最後には「思考・表現チャレンジ」のコーナーを設けました。ここでは、自分がどのように考えたかのプロセスを表現する練習をします。

言語事項



次の文の□にあてはまる擬声語をあとで一つずつ記入して答へなさい。

(1) 擬声語とは

「何うの音や、人や物の事を、そのままねじて表したことだ。ふつうは、かたかなで書きます。」

(例) ワンワン(犬の鳴き声)

ザーザー(はげしい雨の音)

ニャー(ねこの鳴き声)

ガシヤン(物がわれる音)

擬声語を使って表現することには生活の中にたくさんあります。朝起きてから寝ねむるまでの間行動やまわりの様子から擬声語を使って表現することをさがしてみましょう。

(2) 音や感じを正しくつたえる擬声語を使いましょう。

どんな擬声語を使うかによってつたわる音や動き、感じがまったくができます。

例) ぱくぱく(ドアをバタンとしました) あらあらしい動き ↓軽い動き

この学年で身につけておきたい
さまざまな言葉を学習します。

ホームワーク



次の文の□にあてはまる読み方を記入して答へなさい。

ホームワーク 春のお客さん

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(1) 一線①「五にん」とあります。
① いま「五にん」はどこにありますか。
ア ようえん ウ キサ 車の中
イ シキサ 車の中
② いま「五にん」何が起つたといいますか。
ア おかさんを見て、おどろいたといいます。
イ おかさんを見て、おどろいたといいます。
ウ 松井さんの手とそれがあがって、おどろいたといいます。
エ ミキサー卓とそれがあがって、おどろいたといいます。

「例題」「練習問題」で習得した読み方・考え方を使って1人で解いていきます。

その他の特長

言葉の単元について

説明文の文章について

説明文では、私たちの住む社会や、私たちの身の回りにある自然を題材とした文章を扱います。その内容は小学校で学習する理科や社会の知識と結びついています。国語の学習をしながら、理科や社会の見方・考え方を身につけられる構成にしています。

文章読解以外にも、言葉の力をつかむための特別な単元も盛り込みました。これは、主に主語・述語・修飾語など文のしくみを理解し、短文を書く練習や短い文章を使って文のしくみを正しく理解するトレーニングなどをします。

1 春のお客さん／擬声語

例題

次の文章を読んで、あとの間に答えてましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15 10 5

- (2) — 線① 「うんてんしゅさん」とは、だれですか。名前を書きぬきましょう。
- (1) ① この場面の季節はいつですか。
ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬
② この場面は、一日のうちの、いつごろでしょうか。
ア 昼 イ 夕方 ウ 夜



読む基本

□① 1～18行目の場面には、だれが登場しますか。登場人物を表す言葉に、線を引きましょう。

□② ①の登場人物たちは、いま、どこにきたところですか。
ア 林の道 イ 車の中
ウ ようちえん エ 林の中

(あまんきみこ「春のお客さん」より)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(3) ～線「たんぽぽいろ」「わか草いろ」とは、それぞれ、何色にている色だと思いますか。自分で考えて書きましょう。

たんぽぽいろ……

わか草いろ……

色にしている色

□(4)

――線②「こどもたち」とは、どのようなこどもたちですか。

ア 松井さんの家のこどもたち。
イ ようちえんにかよっている、こどもたち。

ウ 松井さんのつれてきた、五人のこどもたち。
エ セんせいの家のこどもたち。

□(5)

この場面は、どういう場面ですか。

ア 松井さんのつれてきたこどもたちが、おかあさんといつしょにうたつていてる。

イ ようちえんのこどもたちが、松井さんのつれてきたこどもたちがうたつていてるのを見ている。

ウ 松井さんのつれてきたこどもたちが、ようちえんのこどもたちがうたつていてるのを見ている。

エ 松井さんのつれてきたおかあさんが、自分のこどもたちがうたつていてるのを見ている。

35

30

25

20

次の文章を読んで、あとの問に答えてみましょう。



練れん

習しゅう

問もん

題だい



著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20

15

10

5

(あまんきみこ「春のお客さん」より)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

40

35

30

25

本当は



ではないか?

う。

□(1)

——線①「よっぽど、うれしいんだろうなあ」とあります
すが、松井さんは、五人のこどもたちが、何をしていると
ころを見て、そう思つたのですか。

ア さくによりかかっているところ
イ むこうを見ているところ
ウ あたまが、リズムにのってゆれているところ
エ 目が、大きくなつたところ



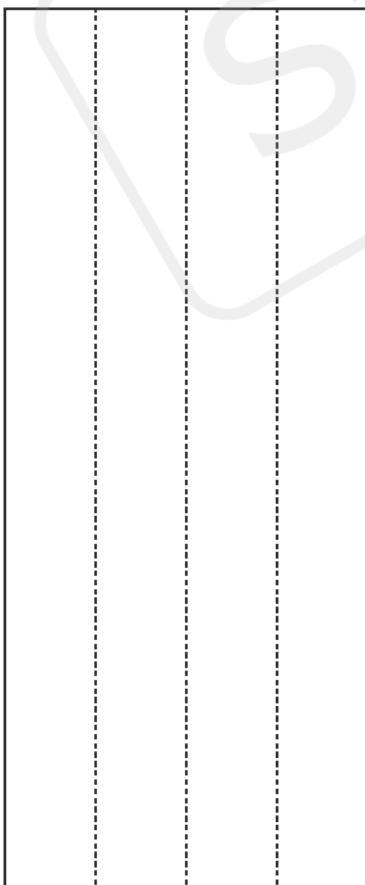
□(2)

——線②「な、なんだい?」とあります
が、このときの、
松井さんの気持ちを表す言葉を、十字で書きぬきましょう。
(点や丸も一字に數えます。)



□(3)

——線③「な、なんと、あの子たちは」とありますが、
松井さんは、「あの子たち」が本当は何ではないか、と考
えたのですか。あてはまる言葉を、三字で書きぬきましょ
う。



□(4)

——線④「大きくなつた目は、糸のようにはそくなりま
した」とありますが、これはどのような気持ちの変化を表
していますか。

ア 「びっくり」から「わらいそう」
イ 「びっくり」から「おそろしい」
ウ 「わらいそう」から「びっくり」
エ 「おそろしい」から「わらいそう」



思考・表現チャレンジ



□(5)

——線⑤「たぬきねいり」とは、ねたぶりをすることです。
なぜ、松井さんは、ねたぶりをしたのでしょうか。自分の言
葉で説明しましょう。



★擬声語

(ポイント)

擬声語とは

「擬声語」は、何かの音や、人や動物の声を、そのままねして表した言葉のことです。ふつうは、かたかなかで書きます。

れい

ワンワン（犬の鳴き声）

ザーザー（はげしい雨の音）

ニヤー（ねこの鳴き声）

ガシャン（物がわれる音）

擬声語を使って表せることは生活の中にもたくさんあります。朝起きてから夜ねむるまでの間の行動やまわりの様子から、擬声語を使って表せる事をさがしてみましょう。

(2)

音や感じを正しくつたえる擬声語を使いましょう。

どんな擬声語を使うかによって、つたわる音や動き、感じがまつたくちがってきます。

れい ぼくは、ドアをバタンとしめた。

↓軽い動き
↓あらあらしい動き



(2)



(1)

□と鳴く。

□とほえた。

ア ガオー イ メエメエ ウ カアカア

1 次の文の□にあてはまる擬声語をあなたのア～ウから一つずつえり、記号で答えましょう。

(1) かみなりが□鳴っています。
(2) すずが□鳴っています。

ア カタカタ イ リンリン ウ ゴロゴロ

(1) □
(2) □

2 次の絵に合う擬声語で、文の□にあてはまるものを、あとア～ウから一つずつえり、記号で答えましょう。



③ 次の音や声をまねして表した擬声語を、あのア～ウから一つずつえりび、記号で答えましょう。

□(1) うすいガラスがわれる音。

ア クスクス イ パリン
ウ ヒューヒュー

□(2) ふくろうの声。

ア ミーンミーン イ ゴロゴロゴロ
ウ ホウ、ホウ

□(3) 紙をやぶく音。

ア ビリビリッ イ パツカパツカ

ウ モーウ、モーウ

□(4) 海の波^{なみ}がはまに打ちよせる音。

ア キュツキユツ イ ザブーンザブーン

ウ コトンコトン

□(5) 人間の赤ちゃんの泣^なき声。

ア ペリツ イ カタカタ
ウ オギヤーオギヤー

④ 次の①・②の一線の言葉は、それぞれどんな感じのある言葉ですか。あのア～ウから一つずつえりび、記号で答えましょう。

□(1) しょくいん室のドアをトントンとたたく。
② 夜中に店のドアをドンドンとたたく。

ア いそいでいてはげしい感じ。
イ ていねいで軽い感じ。

ウ にぎやかでざわついた感じ。

□(2) ② ① 太いえだをボキッとおる。
小えだをボキッとおる。

ア たくさんの中物を連續^{れんぞく}しておる感じ。
軽い力でかんたんにおる感じ。
ウ かたい物を力を入れておる感じ。

①

②

①

②



ホームワーク 春のお客さん

次の文章を読んで、あの問い合わせに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりまますのでご安心ください。

(1) 線①「五にん」とあります。

① いま「五にん」は、どこにいますか。

ア ようちえん イ 松井さんの車の中
ウ 林の道 エ ミキサー車の中

② いま「五にん」に、何が起きたところですか。

ア 子だぬきを見て、おどろいたところ。

イ おかあさんを見て、おどろいたところ。

ウ 松井さんの車とすれちがつて、おどろいたところ。
エ ミキサー車とすれちがつて、おどろいたところ。

(2)

線②「目をまんまるにした」とあります。ここでは、どのような様子を表す表現ですか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から四字で書きぬきましょう。

している様子

(3)

線③「あたふたした声」とあります。ここでは、どのような声を表す表現ですか。

ア あわてている声
イ おどろいている声
ウ おこつてている声
エ おちついた声

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

30

(あまんきみ) 「春のお客さん」より

- (4) — 線④「このまま、いいの?」とは、何のままでいいのか、どうのですか。文章中から五字で書きぬきましょう。
- (5) の今までいいのか。

□(5) この場面で、松井さんは「おかあさん」と「五にん（の子どもたち）」が、たぬきであることについて、どのように感じていますか。

ア おどろいている。
イ おどろいていない。
ウ 気づいていない。
エ 気づいていないふりをしている。



言葉トレーニング

◎ 次の文に合う擬声語となるように、□にあてはまるカタカナをあとから一つずつえらんで書き入れましょう。

う。

(1) ゆかに



ス

としりもちをつく。

(2)



ヤリとかぎをかける。

チ
フ
ン
ド
カ